

# 令和4年度 公共事業事後評価調書

## 1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名	中山間地域整備事業 [中山間地域総合整備事業(国補)]		事業箇所	南都留郡鳴沢村	地区名	鳴沢	事業主体	山梨県
(1) 事業着手年度	H19年度	(2) 事業期間	H19年度～H29年度		(3) 完了後経過年数	5年	(4) 総事業費	1,170百万円
(5) 事業着手時点の課題・背景					(8) 事業位置図等			
<p>本地区は富士北麓の観光エリアをつなぐ国道139号沿いに位置し、冷涼な気候を活かしてキャベツやスイートコーン等の高原野菜が生産されている。また、国内有数の観光地であるため、その立地条件を生かした活性化を目指している地域である。</p> <p>しかしながら、村内に河川等の水源がないことから安定した農業用水の確保が難しく、農道は未整備で農地も狭く不整形なことから作業効率は悪く、さらにはサル、シカ等による食害も発生しており、営農意欲の減退などの原因になっていた。</p> <p>このため、用排水路、区画整理、農道などの農業生産基盤の整備と併せて、鳥獣害防止施設の整備を行い、農作業の省力化・効率化など営農条件を改善するとともに、立地条件を活かした農業と観光産業との連携による地域の活性化を目的として事業を実施した。</p>								
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果								
<p>□主要目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上</li> </ul> <p>□副次目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上</li> <li>○農業用排水能力の向上</li> </ul> <p>□副次効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農林産物の販売促進</li> </ul>								
(7) 整備内容(目標達成の方法)					<p>0km 1.5k 3km</p> <p>地理院地図(国土地理院)を加工して作成</p>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用排水路 2路線 A= 62.1ha (畑かん)</li> <li>1路線 L= 1,692m</li> <li>・農道 2路線 L= 1,126m</li> <li>・区画整理 2箇所 A= 16.1ha</li> <li>・農業集落道 1路線 L= 935m</li> <li>・集落防災安全施設 N= 5基</li> <li>・鳥獣害防止施設 L= 13,525m</li> </ul>								

## 2. 評価シート (1)

### (1) 事業貢献度 〈(良)・不良〉

(理由)

本地区において、用排水路や区画整理等の整備により生産が安定するとともに、高品質な「富士山やさい」のブランドが定着したことから、農産物直売所の売り上げが増加している。また、農道・集落道の整備を行ったことにより、地区外からより多くの観光客が訪れるようになり、農業と観光産業の連携が促進されている。

①主要目標：中山間地域等の農村生活・生産機能の向上

指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等
面積当たり農業所得増加額	—	2,097千円/ha

□評価

・農業所得増加額が評価基準値1,322千円/haを上回っている。

②副次目標：集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上、農業用排水能力の向上

指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等
全幅員4m以上道路延長率	0%	100% ※1
用排水能力向上率	1.00	2.92 ※2
施設老朽度	1.06	0.20 ※3

□評価

・改良が必要な農道及び農業集落道2.1kmの全てを幅員4.0m以上に整備している。

※1 (全幅員4.0m以上道路延長率) = (対象路線の全幅員4.0m以上の区間延長: 2.1km) ÷ (対象路線の全体延長: 2.1km) = 100%

・施設整備により通水能力が向上しており、排水機能は改善されている。

※2 (用排水能力向上率) = (計画用排水能力: 0.035m<sup>3</sup>/s) ÷ (既存用排水能力: 0.012m<sup>3</sup>/s) = 2.92 ≥ 1.00

・施設整備により耐用年数が向上しており、老朽化度は改善されている。

※3 (施設老朽度) = (使用年数: 6年) ÷ (既存施設の耐用年数: 30年) = 0.20 ≤ 1.00

③副次効果：農林産物の販売促進

項目	内容
農林産物の販売促進	事業の実施により、高品質な農作物が安定して出荷出来るようになったことから、農産物直売所における野菜の売り上げが20%程度増加した。

④その他の事業効果の発現状況

・農道及び農業集落道を整備したことにより、国道からのアクセスが向上し、地区外からより多くの観光客が観光農園等を訪れ、地域が活性化されている。  
 ・農道や区画整理と併せて鳥獣害防止施設を整備したことにより、獣(サル、シカ、イノシシ)の出没も減少し、安心できる営農及び生活環境が整えられた。

### (2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 〈(有)・無〉

項目	着手時点	再評価時点	事後評価時点
総事業費	966 百万円	1,475 百万円	1,170 百万円
工期	H19~H24	H19~H27	H19~H29
評価基準年	H18	H25	R4
費用	986 百万円	1,764 百万円	1,537 百万円
建設費	966 百万円	1,704 百万円	1,482 百万円
関連事業費	20 百万円	60 百万円	55 百万円
便益	2,084 百万円	2,627 百万円	2,167 百万円
作物生産効果	571 百万円	840 百万円	744 百万円
営農経費節減効果	1,097 百万円	1,299 百万円	1,002 百万円
走行経費節減効果	211 百万円	285 百万円	292 百万円
その他 ※1	205 百万円	203 百万円	129 百万円
B/C ※2	2.1	1.5	1.4

※1 その他は、維持管理費節減効果や一般交通等経費節減効果、災害防止効果品質向上効果

※2 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

(要因変化の分析)

・総事業費：区画整理において、整備面積の減少に伴う事業費の減額

### (3) 事業実施による環境の変化

①自然環境への影響

基盤整備の実施により農作業の効率化などの営農条件が改善されたことで、景観に悪影響を及ぼす耕作放棄地の発生防止につながり、地域の良好な農村景観が保たれている。

②生活・居住環境等への影響

農業集落道や集落防災安全施設など地域に密着した施設の整備によって、生活の安全性や利便性が向上している。

③環境保全対策の効果発現状況(措置を講じた場合)

なし

### (4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響

①社会経済状況の変化

なし

②関連計画・関連事業の状況の変化

なし

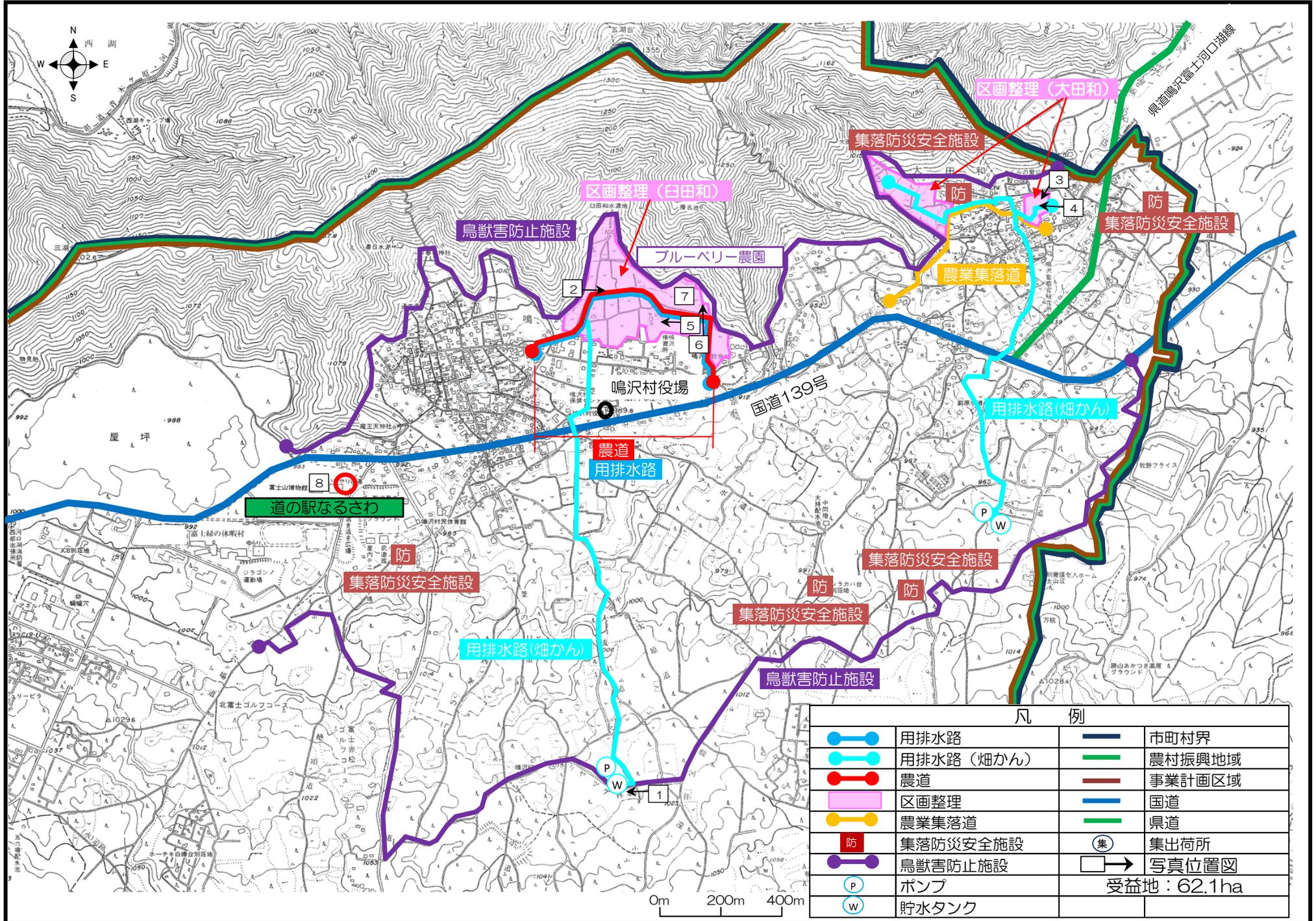
③事業環境等の変化

なし

評価シート(2)

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>(理由)          事業実施により、道の駅や観光農園を中心とした農業と観光産業の連携が行われ、今後も継続されることが見込まれるなど、十分な効果が得られていることから、今後の事後評価は必要ないものと思われる。</p> <p><input type="checkbox"/> 「有」の場合の実施時期及び方法          ・時期：            年度          ・方法：</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>(理由)  なし</p> <p>(具体的反映策)  なし</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>(理由)  なし</p> <p>(具体的反映策)  なし</p> <p>(既に実施した改善策の内容と効果)  なし</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>(理由)  なし</p> <p>(具体的反映策)  なし</p>
	<p>(9) その他特筆すべき事項 <span style="float: right;">〈<b>有</b>・無〉</span></p> <p>地元農家で組織する鳴沢村ブルーベリー生産組合では、観光農園の運営に加え加工品の開発も行っている。また、その加工品は道の駅で年間を通して販売されており、地域の特産品として人気が高く、地区外から多くの観光客が訪れ地域の活性化につながっている。</p>

### 3.添付資料シート（1）



凡 例			
	用排水路		市町村界
	用排水路 (畑かん)		農村振興地域
	農道		事業計画区域
	区画整理		国道
	農業集落道		県道
	集落防災安全施設		集出荷所
	鳥獣害防止施設		写真位置図
	ポンプ		受益地：62.1ha
	貯水タンク		

### 3.添付資料シート（2）

## 用排水路（畑かん）

1 貯水タンク



2 地域給水栓の使用状況



3 整備後の状況1



3 整備後の状況2



用排水路（畑かん）が整備され、必要な用水が確保できるようになり、高品質な農作物の生産が可能となった。特にキャベツやスイートコーンなどは「富士山やさい」のブランドとして販売が促進されている。

### 3. 添付資料シート (3)

#### 4 区画整理

地区面積：3.0ha  
筆数：91筆



事業前

ほ場が小区画・不整形であるなど作業条件が悪いため、耕作放棄地が増加していた。

地区面積：3.0ha  
筆数：49筆



事業後

区画整理により耕作放棄地を解消するとともに、農地が集積されたことで作業効率が向上し、営農環境が改善された。

#### 5 農道



事業前

幅員が狭くすれ違いが困難であり、地域の観光農園への集客や農作物の集出荷等に支障が生じていた。



事業後

農道の整備により、地域内の観光農園により多くの利用者が訪れるようになった。また、集出荷等の農耕車のすれ違いが容易となり営農条件が改善した。

### 3.添付資料シート（4）

#### 6 鳥獣害防止施設



鳥獣害防止施設の整備により、サル、シカ等による農作物被害が軽減されるとともに、安心できる営農環境が整えられ、耕作者の営農意欲が向上した。

#### 7 観光農園



地区内の観光農園（ブルーベリー狩り）ではシーズンに多くの観光客が訪れ地域に賑わいが生じており、ジャム、ゼリー、シャーベットなど地域の加工品も開発されている。

#### 8 地区内の農産物直売所（道の駅なるさわ）



生産組合による加工品の開発・製造



地区内で生産されたとうもろこしや鳴沢菜などが生地  
に練り込まれたまんじゅう  
も販売されている。

基盤整備により農作物の品質が向上するとともに出荷が安定したことで、地元の農産物直売所（道の駅なるさわ）では新鮮な農作物及び加工品が取り揃えられており、地区外から多くの観光客が訪れ、地域の活性化につながっている。